

令和7年度

パピーナ西荻北保育園

すくわくプログラム

テーマ： かたち

テーマを設定する

遊びを通して楽しみながら、絵合わせパズルや積み木などを使用し、形を認識するだけでなく、手先の器用さや集中力も高め、「かたち」への理解を深めることに期待する。

活動 かたちの認識

絵合わせの意味を理解し、完成した喜びを体験する

活動スケジュール

3歳児クラス

日にち	令和7年4月10日
時 間	30 分
参加人数	15 人

環境をデザインする

- 準備した物 花、動物、昆虫の絵合わせカード

探究活動を実践する

●活動内容

1枚の絵になるように並べる

どんな絵が完成するかを想像する

●子どもたちの様子

前に出て大きな絵合わせで1つの絵を作り、「みんなに見えているかな？」と促すと、どうしたらカードがよく見えるかを子どもなりに考え、向きや持ち方を工夫する姿が見られた。「私のは動物だ」「こっちは虫だよ」と、合体した絵を見せ合いながら、「これはゾウだね」「これはクマじゃなくてたぬきかな？」と、友達と楽しそうに話し合いながら取り組んでいた。



●振り返りをふまえた気づき

担任より

みんなの前に出るのを恥ずかしそうにしている児もいたが、カードや絵柄には興味を持っていた。自分で考えたり友だちと確認し合いながら完成させる姿も見られた。椅子に座ってからも「これはなに」と完成した絵を保育者に確認しながら楽しんでいた。

講師より

絵の向きや見せ方を工夫する姿から、形の組み合わせや配置に自然と関心が向いていることが感じられた。絵合わせでは、「どうつながるか」「どんな形になるか」を考えながら取り組み、楽しんでいた。友達と見せ合う中では、形の違いや特徴に気づく姿も見られ、遊びを通して形への理解が少しずつ深まっているように思えた。

令和7年度

パピーナ西荻北保育園

すくわくプログラム

テーマ： かたち

テーマを設定する

具体的なものや身近な事柄を通して生活の中で感じ取ったものを活かす必要があるため、「かたち」をテーマにして様々な形の概念や表現を理解し深めることに期待する。

活動 大きさの比較と形の構成

大きさの違いに気づき、「大きい」「小さい」の言葉の理解を深める

環境をデザインする

●準備した物 タングラムパズル、タスクブック

活動スケジュール

4歳児クラス

日にち	令和7年4月10日
時 間	30 分
参加人数	15 人

探究活動を実践する

●活動内容

事物を見て「大きい」「小さい」の比較をする

名前と形を考える

自由な発想で形作りをする

●子どもたちの様子

「キューピーちゃんが初めてのレッスン応援に来てくれたよ」と見せると、自然と「大きい」「小さい」といった言葉が子どもたちから出てきた。三種類の丸を貼り出すと、「大きい!」「小さい!」「中くらい!」と、違いをよく見ながら言葉にしていた。タングラムパズルでは、サイズの違いを意識して「ここは大きいの!」「ここは小さいの!」と、自分でパーツを選んで紙の上に並べ、「できた!」と嬉しそうに完成させていた。



●振り返りをふまえた気づき

担任より

物の大小に気づき、積極的に問いに答える姿が見られた。タングラムパズルでは、様々なサイズのパズルから型に当てはめながら正しく置くことに意識を向けながら行う姿が見られた。

講師より

身近なものにふれる中で、大きさの違いに気づき、「大きい」「小さい」と自然に言葉にしていた。タングラムでは、パーツの大きさを比べながら「ここが小さいよ」などと言って組み合わせ、自分で選んで並べる中で、自然と大きさを比べたり形を組み合わせたりする経験につながり、楽しみながら理解を深めていく様子が見られた。

令和7年度

パピーナ西荻北保育園

すくわくプログラム

テーマ： かず

テーマを設定する

数に対する興味関心を育み、基本的な数の概念を理解し、具体的な事物と数に対応させ、数への理解を深めることに期待する。

活動 数唱

数の変化を楽しみながら、数への興味関心を高める

環境をデザインする

●準備した物 タイル

活動スケジュール

5歳児クラス

日にち	令和7年4月10日	
時 間	45	分
参加人数	15	人

探究活動を実践する

●活動内容

物の数を数えてみる

数のゲームを楽しむ

●子どもたちの様子

子ども達からは「1から10まで数えるには、心の中で言ったり、指サインを使ったりできるよ」との声があり、実際に手を叩いて10で止まることに挑戦し、「むずかしいね～」と言いながらも楽しんで取り組む姿がみられた。

「絵を見て指サインできるかな？」という問いかけにもすぐに反応し、絵を見ながら数えて指を出す姿が見られた。「できた！」という声とともに、いきいきとした表情で自信をのぞかせていた。



●振り返りをふまえた気づき

担任より

すぐに声に出して数えるのではなく、心の中で数えてから指で表現していた。咄嗟に声に出してしまう児もいたが、慣れてくると意識して言わないようにする姿も見られた。

講師より

数を心の中で唱えたり、指で表したりする経験を通して、数えることへの関心が自然と高まっていた。目で見えて数え、指で表現する流れが、子どもたちにとってわかりやすく、自信へとつながっていたように思う。遊びの中で繰り返し数にふれることで、数のしくみに少しずつ親しんでいくことが期待できる。